

あとがき

臨床眼科 9月号をお届けします。本号は第68回日本臨床眼科学会講演集の第7回目となります。症例報告には読んで頭の片隅に置いておけば類似の症例に出会ったときにとても参考になるものがあります。ほんの一部を紹介しますと、森秀夫氏らの妊娠糖尿病例がインスリン強化療法に伴って一過性の網膜症の悪化をみた症例、薫一帆氏らのUAIM症例、脇屋匡樹氏らのサルコイドーシスで多発性脈絡膜肉芽腫を示した症例、徳永義郎氏らの肥厚性硬膜炎へのステロイド治療後に感染性脳症を発症した症例などはいずれも大学病院などの基幹病院で眼科診療を行ううえで見逃すことのできない症例です。それから水澤裕太郎氏らの重症未熟児網膜症に対する抗VEGF併用療法に関する報告も時代の流れを感じさせる論文かと思います。

連載では周藤真氏らによる「スマートフォンを用いた前眼部および眼底写真」が注目です。本号ではスマートフォンによる前眼部撮影と眼底撮影のノウハウを実際に即してわかりやすく記載していただきました。世の中、大型PCからノート型の小型PCへ、そしてスマートフォンが単なる携帯電話とカメラから情報端末へと徐々に移って行く流れの先には、スマートフォンがいずれPC機能を持つようになるだろうと予想されています。眼科領域ではスマートフォンが医療機器としての機能を持つようになるというのも時代の流れでしょうか。それから村木早苗氏の小児心因性視力障害についての大変わかりやすい解説も見逃せません。眼底に異常のない視力障害に対して、心因性なのか視神経や錐体視細胞の器質性疾患なのかに関して頭を悩ませる症例に多く出会います。私などはわからなくなると大学の先輩である清澤源弘先生のご高診を仰ぐことが多いのですが、村木氏の解説により小児心因性視力障害とはどのようなものなのか、認識を新たにして日々の診療に応用したいと思います。(中澤 満)

編集顧問	清水弘一	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅義三	西田輝夫
	水流忠彦	根木 昭					
編集委員	寺崎浩子	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	下村嘉一	稲谷 大	

臨床眼科 (第69巻 第9号)

2015年9月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価: 本体 2,800 円+税

(2015 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 送料弊社負担)
冊子版 40,140 円+税
冊子+電子版/個人 45,140 円+税
冊子+電子版/共有 51,200 円+税
電子版/個人 40,140 円+税 電子版/共有 46,200 円+税

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 松井・山本・安部